



逆井中の二八〇名が逆井浅間神社清掃

12. 28



生徒来る押されて神社も煤払い

押されて逆井浅間神社の煤払いが始まるわけではない。もう四年も続けて逆井中学校（小川信一校長）の生徒の神社清掃に付き合い、その一時間以上も前から始まる逆井の人たちの煤払いを手伝って？いると、新年も地元の人たちと迎えられる、と言う明るい気持ちになつてくる。さあ中学生が来るぞ。

今年は二八〇名が来る。新規の竹箒90本もそろえた。クラスが増えて、一年六組、二年四組が参加するという。学校支援のグループ「十色咲かそう会」のおばさんたちは、ふたつの大釜を使って、けんちん汁の準備を始める。本殿と旧本殿の屋根の落ち葉おろし、本殿では注連縄、「この半紙を折ったものは？」「よりしろ。神が移ってくる」神殿内の掃除も始まる。

生徒到着。歓迎の言葉。「放射能の問題もあります。…」神社と弁天様と天神様の3隊に別れ清掃が始まる。驚くほどの大量の落ち葉を集め裏山の奥に運ぶ。軽い落ち葉、放射能も吹っ飛ぶ。

2時間後、天神様、弁天様からも戻ってくる。けんちん汁が湯気を立てている。「お代わりどんどん、いっぱいあるからね」